

寧夏の釀造用葡萄産業の発展の優位性と課題に関する研究

張軍翔

寧夏大学農学院、葡萄・葡萄釀造 教育部工程技術センター

主旨；

本報告は、寧夏葡萄釀造産業の発展の優位性と課題について研究したものである。気候、土壌、推理資源などの多方面から寧夏葡萄釀造産業の発展の優位性を分析した。寧夏には、葡萄釀造用の葡萄の生長を育成に適した気候と土壌がある。同時に、賀蘭山東麓には便利な、黄河による灌漑条件があるため、賀蘭山東麓地帯はわが国で著名な、品質の高い葡萄酒原料の産地となった。また、ブランド名、技術、コスト、経済、文化などの面から、寧夏の葡萄酒釀造用産業の劣勢と存在する問題についても分析した。目下、寧夏の葡萄酒釀造用葡萄産業の劣勢は、著名なブランド名効果による支えがなく、人力資源不足し、生産量が少なく、コストが高く、文化と技術が立ち遅れ、地方経済の発展状況などが葡萄酒産業の発展を抑制している要因である。本報告ではこれらの問題を解決する初歩的なコメントを提出する。